

自由論題 5 東・東南アジアの国際関係・政治 報告 2

原民樹（一橋大学大学院博士課程）

「フィリピンにおける地方政治の革新：シキホール島の事例」

貧困と汚職との闘いというアジェンダが広範な期待を集めたにもかかわらず、2016年に任期を終えたアキノ政権は、国政レベルでは改革の成果を十分に残すことができなかった。しかし、アキノ政権期に登場した政治勢力や政策のなかには、地方レベルで注目すべき変化に結実したものがある。本報告は、アキノ大統領率いる自由党およびその連立勢力であったアクバヤンの支持した候補者たちが、2013年および2016年の選挙で強力な政治王朝一族を打倒したシキホール州の事例を分析する。選挙後、同州の貧困、汚職の状況は大きく改善された。具体的には、アキノ大統領の選挙キャンペーンを契機に結成された、ピープルパワー・ボランティアズ・フォー・リフォーム（PPVR）の草の根の組織化運動、および2013年にはじまるボトムアップ型予算プロジェクト（BUB）のインパクトを考察することで、なぜこのような変化が起きたのかを明らかにする。それはまた、アキノ政権の達成を地方レベルから評価する論点を与え、フィリピン政治を理解する支配的なフレームワークであるエリートデモクラシー論に対する批判的視点を提供し、オリガーキーに立ち向かう革新勢力による地方レベルの実践のあり方を示すものである。